

月刊 社会保険 7

2018 VOL.816

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

第7期計画期間における介護保険の第1号保険料について
日本年金機構における業務委託のあり方等に関する調査委員会報告書(ポイント)
2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)ー概要ー
「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」に基づく
マンパワーのシミュレーションー概要ー
今後の医療保険制度の検討について
平成30年度の社会保障の充実・安定化について
少子高齢化と性教育を考えるー出産適齢期と性教育
新連載 / 持続可能な社会の扉を開けた人たち たかたか 高田 誠 / おかやま 岡山 慶子

第7期計画期間における介護保険の第1号保険料について	5
日本年金機構における業務委託のあり方等に関する調査委員会報告書(ポイント)	6
2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)ー概要ー	8
「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」に基づくマンパワーのシミュレーションー概要ー	10
今後の医療保険制度の検討について	11
平成30年度の社会保障の充実・安定化について	12
書評 新井 紀子 著『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』	13
少子高齢化と性教育を考えるー出産適齢期と性教育ー	14
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員として～現状と今後～ 医療法人清心会八尾こころのホスピタル人事課課長 山田 卓也	18
書評 岡山慶子・中村清吾・森さち子 編著 『患者の心を誰がみるのかーがん患者に寄り添いつづけた精神科医・丸田俊彦の言葉』	20
サステイナブル 持続可能な社会の扉を開けた人たち 第1回(前編) マネジメントの視点で捉えると日本流のサステイナビリティが見えてくる 株式会社オーセンティックス代表取締役社長 高田 誠 株式会社朝日エル会長 岡山 慶子	21
自分が変われば会社も変わる!? ビジネスチャンスを拓ける行動変容 第3回 刺激を受けて人は行動する 埼玉学園大学教授 古澤 照幸	24
さまざまな視点から考える認知症 第3回 美穂さんと透子さんのお話 NPO法人ハート・リング運動・のぞみメモリークリニック看護師 水谷 佳子	26
認知症を予防する 第3回 アルツハイマー病とリズム異常、徹夜、抗うつ剤の影響 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」**「樹の風景」**

長野県山ノ内町



山ノ内町は、わたしが好んで撮影するポイントのひとつである。
見てわかるように数多くの白樺があり、まさに壮大な風景といえる。
この季節は緑が美しく、秋になれば紅葉も素晴らしい。雪が降れば、また白銀の世界にしてくれる。
どの季節に行っても、そのときどきのよさがある。
ここだけではなく、皆が住んでいる町にも季節を感じる風景は必ずある。
季節ごとにそれを楽しんでみてはいかがだろうか。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

社会保険委員として～現状と今後～



医療法人清心会八尾こころのホスピタル人事課課長
山田卓也

●地域紹介

大阪府下には、私が所属する八尾年金事務所をはじめ21の年金事務所があります。

われわれの活動拠点は、大阪府の東部、奈良県との県境にあり、隣接する柏原市（人口約7万人）とあわせて、管内健康保険5822事業所、厚生年金保険6005事業所があります。委員委嘱人数は、平成30年3月末現在、202名（うち役員18名）で構成されています。

私が生まれ、育ち、そして勤務する八尾市は現在、人口約26万人で大阪府下33市9町1村の中で9番目にあたります。

中小企業を中心に高度な技術力と製品開発力を誇り、お隣の東大阪市とともに「ものづくりのまち」として有名です。さらに近年では特産品として「えだまめ」や「若ごぼう」等も全国区に名乗りを上げるようになりまし。

しかし、なんといっても八尾といえば「河内音頭」が一番有名ではないでしょうか？

夏になれば、市内のあちこちに櫓が立ち、毎日どこかで河内音頭の歌と踊りが繰り広げられています。そして、ついには昨年9月に2872

人が5分間、同じ踊りを踊りつづけるということでギネス記録に認定されました。

その踊りへの熱い思いが、世代を超えて老いも若きもが一堂に集い、ここるところのつながりを育むことで「熱い人情の街」を形づくってきたのかもしれない。

●事業所紹介

医療法人清心会は、大正2年10月に開設し、今年で創立105年目を迎えます。

地域のすべての人々にこころの健康に関するサービスを提供し、こころ豊かな地域社会づくりをめざし、「ユーザー・ファースト」をモットーにたゆまぬ研鑽と努力を行うことを基本理念に、八尾市にある350を超える医療施設の中で入院病床を持つ唯一の精神科病院として、地域貢献に尽力しています。

また、「精神科は怖い？」などの閉鎖的なイメージを払拭するため、地域の人々の患者様への理解を図れるよう病棟の敷地を開放し、8月には夏祭り、11月にはフリーマーケット等を行っています。

去る平成25年には、創立100周年を機に開設者の個人名を廃し、当

また年3回、職場を超えた交流を目的に食事会などのレクリエーションを行うことで、ここからからだの健康増進を目指しています。

●委員会活動について

主な委員会活動については、①総会・理事会・正副会長会議の開催、②事務講習会の開催、③疾病予防および健康づくり事業についての広報の促進、④年金事業および健康保険事業への協力等です。

事務講習会においては、制度変更の説明は、もちろんのこと、毎回、実務に応じたテーマを掲げ、新たに事務に携わられる人への基礎研修、またベテランにとっては、おさらいの意味を込めて、「使える研修会」をモットーに進めております。

また、当委員会では毎年、1泊2日で理事事務研修会を行っています。異業種の人々が集まる中で、それぞれの事業所様が抱える課題や取り組みを実践的に学べる、より貴重な研修の場と考えています。パスの中、食事の時などでも、参加者が親身にあって、それぞれが持つ課題を一緒に考えることにより、さらなる一体感が生まれます。

まさに、人情の街ならではの当委

員会の良さだと感じています。

●今後の委員会活動について

現在、当委員会の当面の課題は、各事業所における委員への理解であると思っています。

委員への理解については、社会保険委員としての明確な役割あるいは、言葉に語弊があるかもしれませんが、あえていうならば特権、メリットが必要なのかもしれません。

少子高齢化の影響がじわじわと感じられる近年、ただでさえ多忙な従業員である委員の方々が、委員会活動に貴重な時間をいただくわけですから、その代償として企業にとって何が得られるのか？と思われるのは、至極当然のことだと考えます。

先日発表された調査では地域別将来推計人口が、2045年には八尾市では18%、柏原市では38%の減少とのこと、ますます労働者人口の低下に拍車がかかり、委員の減少も懸念されています。それに伴い世代交代も今後の課題となってくるでしょう。

今、私たちが出来ることは、もっと深くわが国の健康保険・年金制度を学ぶことで、その良さを課題を広くまわりに知っていただくことで、

一緒にこの制度を守っていきたくと考える同志を集うことであります。

そして、その使命感を魅力的と感じられる委員会活動であること、を示していきたいと、強く考えております。

戦後の荒廃から大変な難局を乗り越え「東洋の奇跡」といわしめた先人たちの努力の恩恵を受けている我々が、活動を通じて、今後に不安を持つ若い次世代にとっての安心を示す一条の光明となれるよう努力していくことが必至であると考えています。

最後になりましたが、全国の社会保険委員の皆さま方のご健康とご繁栄を祈念いたしまして、活動報告とさせていただきます。

（八尾社会保険委員会会長）



医療法人清心会八尾こころのホスピタル



法人キャラクター「心ちゃん」

院の地域である「八尾」を冠するこころと、地域の精神医療・保健・福祉を責任持って実践できる存在への思いなどから病院名を「山本病院」から「八尾こころのホスピタル」に変更しました。

同時に「八尾」という地名の由来となった八枚の尾羽を持つウグイスをテーマとした法人キャラクター「心ちゃん」を制定し、より地域の人々に身近に感じていただけるよう取り組んでいます。

職員においては、今年度より定期健康診断時、20歳、25歳、30歳の希望者に血液検査を実施し、若いうちから自身の健康チェックに留意してもらえよう意識づけを行っています。